#### 【評価実施概要】

| 事業所番号    | 4570300709                   |  |  |  |  |
|----------|------------------------------|--|--|--|--|
| 法人名      | 有限会社愛宕福祉サービス                 |  |  |  |  |
| 事業所名     | グループホーム愛宕荘                   |  |  |  |  |
| 所在地      | 宮崎県延岡市古城町4丁目634番地3           |  |  |  |  |
| 7月11年11日 | (電 話) 0982-42-2658           |  |  |  |  |
| 評価機関名    | 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会             |  |  |  |  |
| 所在地      | 宮崎県宮崎市原町2番22号                |  |  |  |  |
| 訪問調査日    | 平成19年10月18日 評価確定日 平成19年11月29 |  |  |  |  |

## 【情報提供票より】 (平成19年9月19日事業所記入)

### (1)組織概要

| 開設年月日 | 昭和(平成) | 14年1   | 0月1日   |        |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18     | 人      |
| 職員数   | 13 人   | 常勤12人, | 非常勤2人, | 常勤換算6人 |

### (2) 建物概要

| 建物構诰 | 鉄骨     | 造り  |     |  |
|------|--------|-----|-----|--|
| 建物構造 | 2 階建ての | 1~2 | 階部分 |  |

# (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| 家賃 (平均月額)           | 35, 000 | ) 円 | その他の紅        | 怪費(月額) | 実費  | 円 |
|---------------------|---------|-----|--------------|--------|-----|---|
| 敷 金                 | 有(      | 円)  |              | 無      |     |   |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有(無)    | 円)  | 有りの場<br>償却の有 |        | 有/  | 無 |
| 食材料費                | 朝食      | 200 | 円            | 昼食     | 300 | 円 |
|                     | 夕食      | 300 | 円            | おやつ    |     | 円 |
|                     | または1日   | 当たり |              | 円      |     |   |

## (4) 利用者の概要(平成19年9月19日現在)

| 利用者力  | 人数 | 18 名   | 男性             | 3 名   | 女性 | 15 名 |
|-------|----|--------|----------------|-------|----|------|
| 要介護   | 1  | 1      | - <del>-</del> | 要介護 2 | 9  |      |
| 要介護3  | 3  | 4      |                | 要介護4  | 1  |      |
| 要介護 5 | 5  | 3      |                | 要支援 2 | 0  |      |
| 年齢    | 平均 | 84.8 歳 | 最低             | 69 歳  | 最高 | 99 歳 |

## (5) 協力医療機関

| 協力医療機関名 | 日高胃腸科内科 |  |  |  |
|---------|---------|--|--|--|

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは愛宕山の山裾にあり、小学校や住宅地に近接しているが季節の移り変わりが楽しめる環境にある。戸外のテーブルで食事をしたり、山の斜面にあじさいやコスモスを植えるなど、日々の生活に自然環境を取り入れる工夫がみられる。地区会に加入しホームのふれあい夏祭りに参加を働きかけ地域との交流に取り組み、ホームの地域への開放を目指している。同法人立の幼保園児との毎月の交流会、年1回のふれいあ福祉祭りは利用者の楽しみとなっている。家族には毎月「あたご荘たより」に写真を添えて近況を報告している。職員には看護職が多く、透析者や100歳以上者への対応、終末看護が行われている。

## 【重点項目への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

介護計画は3か月ごとの見直しが行なわれるよう努力されているが、まだ全員に至ってないため更なる努力がされている。救急時の対応マニュアルや感染症マニュアルも作成され、看護師以外の職員も対応できるよう実技指導がおこなわれている。

₹ ||今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

り 自己評価を行うことで、日常業務に流され気づきにくい部分をチェックでき改善点を見つけやすくなる。サービスの向上に直接結びつくことも 多く積極的に活用している。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

重占

点 運営推進会議は2か月ごとに開催され、ホームの地域密着型サービスの項 あり方、地域との連携やホームの地域への開放についての意見や助言が ある。その時期における利用者の健康管理の留意事項などが積極的に話 2 し合われている。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

単点 毎月、「あたご荘たより」を発行し、家族からの意見や苦情の受け入れ を知らせるようにしている。面会時の声かけや、面会が少ない家族には 電話により家族の思いを把握するような取り組みがある。利用者の個別 の外出や入院のため退居者のお見舞いを行うなど、家族の希望や不安に 対応されている。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

短目治会に加入し回覧板から地域の情報を把握したり、ホームの行事 の参加を呼びかけるなど、地域との連携が図れるような取り組みがなされている。